

横浜市立大学学術情報センター
貴重書月替わり展覧会【オンライン】
バックナンバー

第122回（2021年11月）



「横濱力士の譽」（1枚）

作者：歌川芳盛（1830～1885）

版元：越後屋長八

刊：文久元（1861）年

縦 37.6cm × 横 25cm

歌川芳盛によって描かれた、横浜浮世絵の一つ。

この浮世絵に描かれた日本人力士が大柄の外国人（フランス人）を投げ飛ばしている場面は、実際に行われた相撲ではない。

「日本が西洋を打ち負かせる」と伝えることを目的とし、誇張して描かれたフィクションである。



「横濱譽勝負付」(1枚)

作者：芳藤（1828～1887）

版元：相卜

刊：文久元（1861）年

縦 37.7cm × 横 25.1cm

芳藤によって描かれた、横浜浮世絵の一つ。

本文によれば、この絵に描かれた外国人は、メキシコ生まれのフランス人とされている。

なお、日本とメキシコの間に関交が結ばれたのは、この絵が描かれてから 27 年後の明治 21（1888）年のことである。

原典及び作品紹介リーフレットは、学術情報センターにて
公開、配布しています。

※現在、学外利用者のご来館はご遠慮いただいております。ご了承ください。